



- ・かしこい子
- ・やさしい子
- ・たくましい子



令和2年10月27日号

旭小学校は、これからの時代を生き活きと生き、未知の事柄に果敢に挑戦し未来を切り開いていける子どもたちを育てるために、日々の教育を行っています。ぜひ、率直なご意見をお寄せください。

旭小学校の目指すもの：旭小学校は、次のことを大切に教育を行っています。

●学校にとって大切なこと●

○子どもたちがたのしく学校に来る

「元気に生きる」ために学校はあります。ですから、「たのしく」なければ意味がありません。「いつも笑顔で元気です」と自分から自信をもって言えることが大事です。

○子どもたちが自信と意欲をもてる

たのしく学校へ来て身につけることは、「自分もまんざらではない」という自信と「何とかしてみよう」という意欲と考えます。そこで、

自分のすばらしさをどんどん発見してもらいたいです。

●学校の役割●

自分の特性を活かして生き生きと生活し、生計を立て、社会や他者のために働くことを悦びとし、自己の存在を実感できる社会人となれるような手立てや考え方を育てる

そのための手立てとして、基礎学力いわゆる「読み書き算盤」(現代ではコンピュータや外国語などもある)が必要となります。また、基礎学力を身につける基盤となる心身の健康や困難を克服する発想や手立てなどを身につけていることも大切です。しかし、何よりも学校教育は「他者と共に過ごすことを学ぶ」ことに意義があります。

●学校教育目標●

新たなことに挑戦する心と自ら学び、考え、実践できる力を育て、豊かな心を持ち、他者との共存を図りつつ、意欲をもって主体的に生きる人間の育成をめざす。

学校教育目標の目指す具体的な児童像を次の3つの具体目標としました。

○かしこい子

- ・基礎・基本の学力を確実に身に付け活用できる子
- ・学び方を身に付け、問題や課題を粘り強く考え、進んで解決しようとする子
- ・自分の考えや思いを相手に分かるように表現し、他人の考えとの交流をとおして学び合う学び方を身につけた子
- ・知識・技能を基に人間としてより良い判断ができる子(重点目標)

○やさしい子

- ・相手の気持ちになって物事を考え、行動できる子
- ・人の役に立とうとする気持ちをもって、進んで他人のために働こうとする子
- ・環境を大切にし、行動できる子 (重点目標)

○たくましい子

- ・基本的な生活習慣を身に付け、健康や安全を考えて生活できる子
- ・自信と意欲をもって明るく元気に生活できる子
- ・自らの目標をもち、その達成のために粘り強く最後までやりぬく子(重点目標)

●目標を具体化するための手立て●

次の3つの取り組みを柱にしてこれらの目標を実現していきます。

○期待と満足を実感できる教室【学びの場の改善・充実】教育力の向上

一人一人の児童が健康・安全に過ごし、たのしく学べる学校づくりを行います。

- ◇生活・学習の基盤としての学級づくりを基にして温かな人間関係を構築する。
- ◇自信と意欲を喚起するため、たのしくわかる授業を実践し学力向上を果たす。
- ◇特別支援教育の理念を取り入れた授業の充実
- ◇国際教室の全校的支援体制
- ◇いじめのない学年・学級づくり

○主体的職員集団の構築【学校経営の改善・充実】学校組織力の向上

職員1人1人が自分事として学校全体を考え、目標を共有して取り組んでいきます。

- ◇目標の共有化と経営参画意識の昂揚による学校組織力の向上を図る。
- ◇学校運営を職員一人ひとりが主体的に捉え、**全児童を全職員で**育てる。

○子育ての協働体【地域教育力の向上】地域や家庭との連携の強化

子どもたちの成長のために家庭や地域との連携を深め信頼を高められる学校づくりを行います。学校任せ、家庭任せにせず、違った立場から共に手を取り合い、子どもを育てていく共働体を目指します。

- ◇協力体制の構築に努め、**子ども核とした地域づくりの協働者**となる。

子どもに関する情報の公開と共有を図り、信頼関係を双方向から作っていきます。

- ◇地域資源を積極的に活用する。あさひ小支援隊の充実を図る。
- ◇家庭、地域、学校が支え合い共に成長する関係となる。
- ◇近隣幼稚園・保育園・中学校との連携を強化し、つながりのある教育を行う。
- ◇家庭、学校両面から児童の基本的な生活習慣の確立を支援する。